

1月のカレーライス物価、 1食396円 10カ月連続で最高値

2月は400円台到達へ、野菜類で再び価格上昇
光熱費も春以降に値上がり見通し

「カレーライス物価指数」調査—2025年1月分



本件照会先

飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343（直通）
情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/03/10

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次回調査の公表予定

2025年2月調査分の発表は

2025年4月10日(木)午前10時

SUMMARY

2025年1月のカレーライス物価は1食396円(前年同月317円)となった。
前年同月から79円上昇し、10カ月連続で最高値を更新した。
2025年2月の予測では、野菜類の価格高騰を背景に1食400円台へ到達する見通し。

株式会社帝国データバンクは、食卓への影響度を示す「カレーライス物価指数」を独自に試算した。

〔注〕カレーライス物価：カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数

各種価格データは「小売物価統計調査(総務省)」のうち各都市平均値(全国平均)を参照。調理シーンは「6食分(市販のカレールー1/2パック)をまとめて調理した」ものとした

カレーライス物価指数：各月のカレーライス物価を基に、2020年平均=100とした価格推移

(計算式) $([当月の指数] - [前年同月の指数]) / [前年同月の指数] \times 100$

【原材料】ニンジン、ジャガイモ、タマネギ、牛肉(輸入)、コメ(コシヒカリ、1食：約1合[炊飯前重量])、カレールー(市販)、食用油

【エネルギー】電気(炊飯器での調理、約7合分の炊飯+6時間の保温を加味した)、ガス(強火・中火・弱火の各調理手順)、

水道水(上水道分のみ、下水道使用料は除く。食材・食器類の洗浄にかかる水量は考慮していない)

2025 年 1 月のカレーライス物価:396 円 / 前年同月+79 円

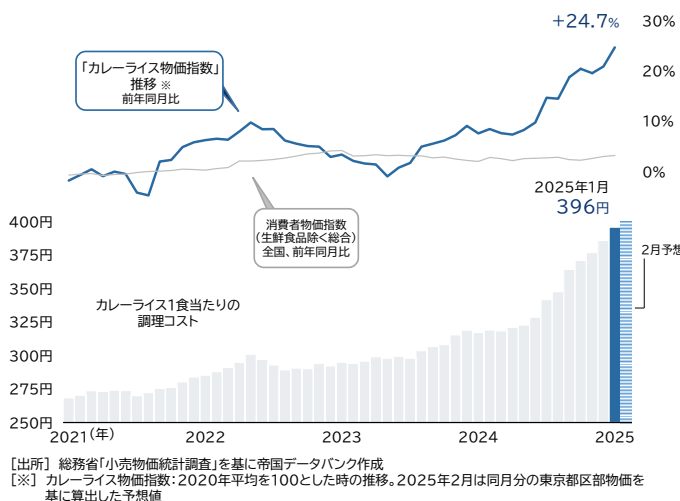
家庭の食卓で人気のメニュー「カレーライス」の調理費用が過去最高値を更新する局面が続いている。カレーの調理に必要な原材料や光熱費などの価格(全国平均)を基に算出した、カレーライス 1 食当たりのトータルコストを示す「カレーライス物価」は、2025 年 1 月時点で 396 円となった。前月(386 円)から+10 円、1 年前の 24 年 1 月(317 円)からは+79 円・+24.9%と 2 割を超える大幅な上昇となり、10 カ月連続で最高値を更新した。前年からの値上がり幅も、2015 年以降では最大だった。輸入牛肉の価格高騰は一服したものの、ジャガイモなど野菜類の価格が再び上昇したことでカレー具材の価格が上昇したほか、コメ価格の高止まりで「ごはん(ライス)」の値上がりも続き、カレーライス物価は引き続き上昇基調で推移した。

カレーライス物価を構成する費用の内訳をみると、最も高いのが全体の約 5 割を占める「カレー具材(肉・野菜)」で、209 円(前年同月 197 円、+12 円)だった。カレー具材の価格としては、猛暑による生育不良で野菜価格が高騰した 2024 年 8 月以来となる高値となった。「ごはん(ライス)」価格は 158 円となり、足元でコメ店頭価格が高止まりしていることを背景に、前年同月(92 円)からは+66 円と大幅に上昇し、過去最高値を更新した。炊飯器での炊飯やガス調理などの「水道光熱費」(4 円)は、政府による電気・ガス代補助により価格が抑制されたことで、低下傾向での推移となった。「カレールー」(25 円)は価格の変動がなかった。

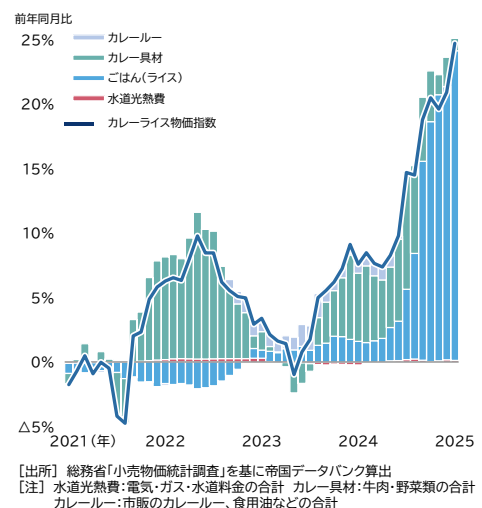
カレーライス物価を基に、2020 年平均を基準(100)とした独自算出の「カレーライス物価指数」をみると、2025 年 1 月の指数は 144.5 となった。カレーライス物価は 5 年間で 4 割を超える記録的な物価高が反映された。同指数の前年同月比では 24.7%上昇し、20 カ月連続のプラスとなったほか、2015 年以降で最大を記録した。

カレーライス物価指数の動向(2021 年～2025 年 1 月)

「カレーライス物価」と「指数」伸び率(全国平均)



「カレーライス物価指数」内訳(前年同月比)



今後の見通し

2025 年 2 月:1 食 400 円台に到達予想、高値圏での推移続く

東京都区部の物価動向を基に予想した 2025 年 2 月のカレーライス物価は、1 食 400 円台に到達する見通し。農林水産省の調査による 2 月の価格見通しでは、カレーライス物価を構成する野菜類(ニンジン・ジャガイモ・タマネギ)では、いずれも「平年を上回る」見通しとなった。輸入牛肉は足元の円高傾向を背景に若干の値下がりも期待できるものの、野菜価格が高騰していることで価格を押し上げ、「カレー具材」は 24 年 7 月以来 7 カ月ぶりに 210 円台へ到達するとみられる。コメ価格では、2024 年産(新米)を中心に店頭価格ベースで値上がりの勢いは鈍化傾向もみられるものの、当面は値下がりの可能性が低く、1 食あたり 150 円台後半での推移が予想される。電気・ガス代は政府による負担軽減策で、3 月調理分までは水面下で値下がりが続くとみられるものの、4 月以降は反転上昇が見込まれる。

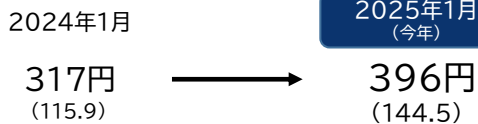
カレーライス物価は、近年例を見ない記録的な価格上昇圧力を反映し、引き続き高値圏での推移が予想される。

カレーライス物価はコメ・野菜価格の高騰が主な押し上げ要因となっている

カレーライス物価を構成する費用 内訳



カレー1食当たりの調理費用(コスト)合計 (内は「カレーライス物価指数」、帝国データバンク算出)



[注] 小数点以下を四捨五入しているため、コスト内訳と合計値は一致しない

消費者物価指数との比較

各項目	2025年 1月	前年同月比 (%)
総合	111.2	+4.0
生鮮食品を除く総合	109.8	+3.2
食料	124.7	+7.8
生鮮食品	145.7	+21.9
生鮮食品を除く食品	121.0	+5.1
カレーライス物価指数 (帝国データバンク算出)	144.5	+24.7

[出所] 総務省「2020年基準消費者物価指数」(全国、2025年1月分)